WEB DESIGN #12

Step 1

Goal

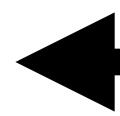
準備するもの

ブラウザには「Safari」 「Firefox」「Google Chrome」 など色々あるけど、スクールで は「Google Chrome」を使う よ!

1. Sublime Text 2

テキストエディター。HTML/CSSファイルを作る時に使います。[$\mathbf{x}+\mathbf{s}$] で「保存」、[$\mathbf{x}+\mathbf{q}$] で「終了」。「index.html」ファイル等をウィンドウにドラッグ&ドロップでひらくことも出来るよ!

2. Google Chrome



ブラウザー。#2のテキストでやった「開発者ツール」は、1)右クリックで「要素の検証」か、2)[\Re +option+i]で開く事が出来るよ!また、 $\underline{右クリック}$ →「ページのソースを表示」で、そのWEBサイトのhtmlファイルを見る事が出来るよ!

今日のサイトのデモページ

http://lit-web.jp/webSchool12

作者が参考にしたツール

http://prezi.com/

impress.jsとは?

Java Scriptsのコードのひとつ。

今回使う「impress.js」の作者が、

「prezi.com」という、オンラインプレゼ

ンテーション作成ツールにインスピレーショ ンを受けて作ったもの。

大好評連載中

今日のShortcut Key Recipe!

プライベートモード とは、履歴 や打ち込んだパスワードが保存 されない閲覧方式だよ!

他人のPCや貸し出しPCでログインするときはこれを使うと安心!

Google Chrome 編

- 1) **第**+shift + Tab = 直前に閉じたタブを再度開く
- 3) 第+ D = 「お気に入り」に保存

今日のファイル

- web_school_#10
- → index.html

をエディタで開こう!

- web_school_#10
- → images

→background.jpg

を変更すると、スライドの背景を変更できるよ!

1. 最初のスライド

index.htmlの中で下の行を見つけよう!

index.html

<div id="bored" ... > ... </div>で囲まれているところが

一枚のスライドだよ!

<!-- ここから下を変更していこう!!! -->

<div id="impress">

<div id="bored" class="step slide" data-x="-1000" data-y="-1500"> <*q>*今日は「*Impress.js*」という...</*q>*

</div>

1. 最初のスライド

【ルール】

index.html

impress.js では、以下のようにクラス属性「*step*」をつけた *<div>*タグで囲ったところが一つのスライドだよ!試しに一つスライドを付け加えてみよう!

<div class="step"> (スライドの中身)

</div>

2. 基本的なカスタマイズ

index.html

【ルール】

クラス属性「step」をつけた< div>夕グの中身には、今まで書いてきたように $< h1> \sim < h6>$ 夕グでタイトル、夕グで文章、< a>夕グでリンク、< img>夕グで画像、< iframe>で Youtubeの埋め込み。。。などが書けるよ!

<div class="step" > <h1>タイトル</h1> 文章 </div>

2. 基本的なカスタマイズ

[ルール] index.html

クラス属性「step」をつけた<div>夕グの属性に「 $\underline{data-}$ x="100" data-y="100"」のように書いてあげることで、スライドの位置を変えることができるよ!

<div class="step" <u>data-x="100" data-y="100"</u>>
 <h1>タイトル</h1>
 文章

</div>

2. 基本的なカスタマイズ

イメージは数学で学ぶ「x軸」と「y軸」

data-x="100"なら、一番左上から100px右のと ころ、

data-y="100"なら、一番左上から100px下のと ころ、

という意味だよ!

最初の三枚はこのように、*data-x(*横*)*がそれぞれ*1000px*ずつ左から右に動いていて、*data-y(*縦*)*が同じ*-1500px*だから、横にスライドするように動くんだね!

3. 応用カスタマイズ<中級>

「data-scale="4"」のように、<div>タグに「data-scale」オプションを付け加えてあげることで、スライドの大きさを自由自在に変更することができるよ!

```
<div id="title" class="step" data-x="0" data-y="0" data-scale="4">
        <span class="try">今日はこれを覚えて帰る! </span>
        <h1>impress.js<sup>*</sup></h1>
</div>
```

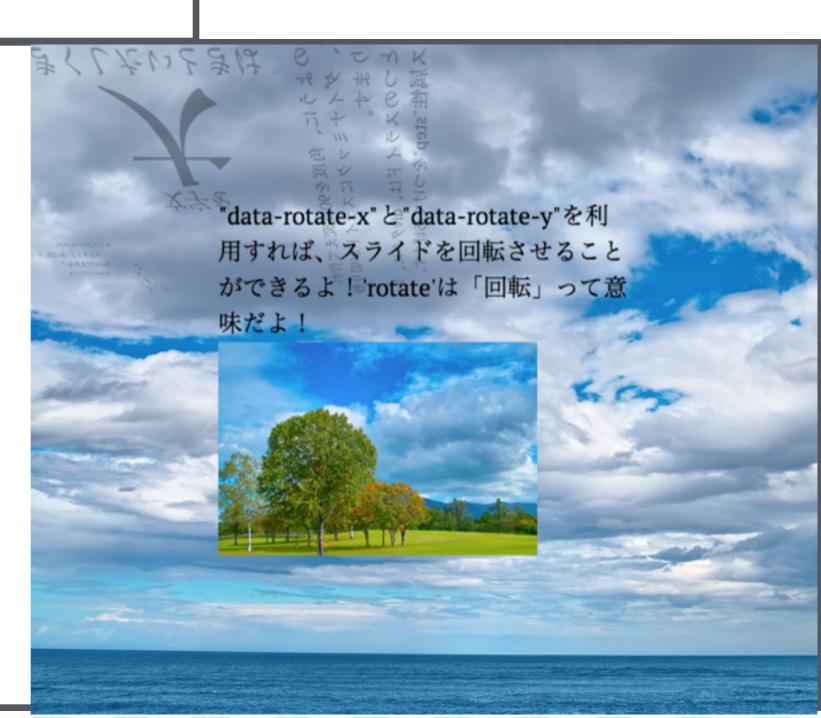
4. 応用カスタマイズ<上級>

```
「data-z="-5000" data-rotate-x="-50" data-rotate-y="180"」 のように、 < div>夕グに「data-z」オプションで、高さ(三次元、3dのイメージ)を、「data-rotate-x(y)」オプションで、回転具合(*rotate=「回転」)を変更できるよ!
```

4. 応用カスタマイズ<上級>

data-z で高さ、 data-rotate-x(y)で回転具合を 変化させれば、

このように 三次元空間に スライドを配置している ようなこともできるよ!



最後に

オリジナルのスライドを自分 で作ってみよう!!!

WEB DESIGN Course ルール

- 1. ショートカット: [衆+s(保存)]、ファイル名: 「xxx.html」
- 2. 分からない友だちに教えてあげよう!(教えることが一番の上達の道!)
- 3. 分からない時はまずググってみよう! 自己解決能力もスキルの一つ!
- 4. おすすめのサイトや記事を見つけたらみんなに教えよう!
- 5. 次回の最初に「難」「鬼難」の答え合わせをするよ!
- 6. 楽しく開発するのが一番! Happy Hacking!